

厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対総合研究事業）
（分担）研究報告書

維持期リハビリテーションの多施設アンケート調査(心臓)

分担研究者 木庭新治 学校法人昭和大学・歯学部全身管理歯科学講座総合内科学部門
/医学部内科学講座循環器内科学部門・教授（兼任）

研究要旨

現在わが国では、循環器病リハビリテーション(循環器病リハ)は、脳卒中と心血管疾患や心不全を含む心臓病を対象とした急性期から回復期へのリハが中心となっている。一方で、維持期リハの実施状況、有効性については、エビデンスが著しく不足しており、その実態は不明である。維持期心臓リハビリテーションの実態調査のため、日本心臓リハビリテーション学会を通じてアンケートによる意識調査を行った。全国から565施設(38%)から回答を得た。維持期心臓リハビリテーションを望む施設は多かったが、実施可能施設や連絡手段、情報取得などのそのシステム構築に問題があることがわかった。維持期リハの提供体制の整備、保険医療の拡大、指導テキストの作成が必要である。令和5年度は、論文発表した。

分担研究者

中山敦子・榊原記念病院心臓リハビリテーション
室長
長谷川 恵美子・聖学院大学・心理福祉学部心理福
祉学科・教授
石原 俊一・文教大学・人間科学部心理学科・教授、
副学長

A. 研究目的

前年度報告書で詳細を発表した。

B. 研究方法

前年度報告書で詳細を発表した。

（倫理面への配慮）

前年度報告書で詳細を発表した。

C. 研究結果

前年度報告書で詳細を発表した。

D. 考察

前年度報告書で詳細を発表した。

E. 結論

前年度報告書で詳細を発表した。

F. 健康危険情報

前年度報告書で詳細を発表した。

G. 研究発表

1. 論文発表

回復期から慢性期・維持期への移行時期に生じる心
大血管リハビリテーションの現状と課題
木庭新治, 中山敦子, 牧田 茂, 佐田政隆, 石原 俊一,
衣笠良治, 長谷川恵美子, 宮島 功, 吉田俊子, 磯部
光章
心臓リハ 2024 ; 30:6-13

2. 学会発表

総括に同じ

H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし